

中1 数学用語

1 次の□に当てはまる言葉や数を書きなさい。【知識・理解：各1点×5】

- (1) 0より小さい数を□という。
- (2) 今から2年後を+2年と表せば、今から7年前は□と表せる。

- (3) 絶対値が3以下の整数は□である。
- (4) 5より小さい自然数は□である。
- (5) 式 $(-6) - (-4) + (-7) - (-3)$ の項は、□である。

次の計算の①、②で使う計算法則を、それぞれ加法の何法則と
いうか。【知識・理解：各1点×2】

$$\begin{aligned} & (+8) + (-13) + (+9) + (-5) && \textcircled{1} \\ = & (+8) + (+9) + (-13) + (-5) && \textcircled{2} \\ = & \{(+8) + (+9)\} + \{(-13) + (-5)\} \\ = & (+17) + (-18) \\ = & -1 \end{aligned}$$

① 加法の	法則	② 加法の	法則
-------	----	-------	----

1 次の①～⑤の()に適する数や語句を解答欄に書きなさい。

(①)より小さな数を負の数という。例えば(①)より7
小さい数は(②)と表す。負の数の大小は、その絶対値が
(③)ほど小さくなる。整数とは、(④)、(①)、(⑤)
のすべてをさし、(⑤)のことを自然数ともいう。

①	②	③
④	⑤	

(1) 次の□にあてはまることばをかき入れなさい。

7×7 を 7^2 、また、 $7 \times 7 \times 7$ を 7^3 と表す。このように、同じ数をいく
つかけ合わせたものを、その数の□①という。

7^2 、 7^3 の右上の小さい数2、3はかけ合わせた個数を示し、これを
□②という。

①		②	
---	--	---	--

1 次の□の中に、適する数や言葉を書きなさい。数学
用語は、漢字で書くこと。【○各1点】

- ① 正の整数のことを□という。
- ② $A+B=B+A$ を□法則という。

1 次の□に当てはまる言葉や数を書きなさい。【知識・理解：各1点×5】

- (1) 0より小さい数を□負の数□という。
- (2) 今から2年後を+2年と表せば、今から7年前は□-7年□と表せる。

- (3) 絶対値が3以下の整数は□-3, -2, -1, 0, +1, +2, +3□
である。
- (4) 5より小さい自然数は□1, 2, 3, 4□である。
- (5) 式 $(-6) - (-4) + (-7) - (-3)$ の項は、□-6, +4, -7, +3□
である。
□(-6) + (+4) + (-7) + (+3)□

次の計算の①、②で使う計算法則を、それぞれ加法の何法則と
いうか。【知識・理解：各1点×2】

$$\begin{aligned} & (+8) + (-13) + (+9) + (-5) && \textcircled{1} \\ = & (+8) + (+9) + (-13) + (-5) && \textcircled{2} \\ = & \{(+8) + (+9)\} + \{(-13) + (-5)\} \\ = & (+17) + (-18) \\ = & -1 \end{aligned}$$

① 加法の	交換	法則	② 加法の	結合	法則
-------	----	----	-------	----	----

1 次の①～⑤の()に適する数や語句を解答欄に書きなさい。

(①)より小さな数を負の数という。例えば(①)より7
小さい数は(②)と表す。負の数の大小は、その絶対値が
(③)ほど小さくなる。整数とは、(④)、(①)、(⑤)
のすべてをさし、(⑤)のことを自然数ともいう。

① 0	② -7	③ 大きい
④ 負の整数	⑤ 正の整数	

(1) 次の□にあてはまることばをかき入れなさい。

7×7 を 7^2 、また、 $7 \times 7 \times 7$ を 7^3 と表す。このように、同じ数をいく
つかけ合わせたものを、その数の□①という。

7^2 、 7^3 の右上の小さい数2、3はかけ合わせた個数を示し、これを
□②という。

① 累乗	② 指数
------	------

1 次の□の中に、適する数や言葉を書きなさい。数学
用語は、漢字で書くこと。【○各1点】

- ① 正の整数のことを□自然数□という。
- ② $A+B=B+A$ を□加法の交換法則□という。

- 1 次の□に適する数や言葉を書きなさい。(1点×6)
- (1) 0より大きい数を正の数といい、小さい数を□ア□という。
- (2) 「今から6年前」を-6年と表すとき、「今から10年後」は□イ□と表す。
- (3) 「+4人増加する」ということは、「□ウ□減少する」と同じ意味である。
- (4) 整数には、正の整数、0、負の整数がある。正の整数のことを□エ□という。
- (5) かけ算のことを乗法、わり算のことを□オ□という。
- (6) $+\frac{1}{3}$ と+3、 $-\frac{2}{3}$ と $-\frac{3}{2}$ のように、2数の積が+1であるとき、一方の数を他方の数の□カ□という。

ア		イ	
ウ		エ	
オ		カ	

- 1 次の□に適する数や言葉を書きなさい。(1点×6)
- (1) 0より大きい数を正の数といい、小さい数を□ア□という。
- (2) 「今から6年前」を-6年と表すとき、「今から10年後」は□イ□と表す。
- (3) 「+4人増加する」ということは、「□ウ□減少する」と同じ意味である。
- (4) 整数には、正の整数、0、負の整数がある。正の整数のことを□エ□という。
- (5) かけ算のことを乗法、わり算のことを□オ□という。
- (6) $+\frac{1}{3}$ と+3、 $-\frac{2}{3}$ と $-\frac{3}{2}$ のように、2数の積が+1であるとき、一方の数を他方の数の□カ□という。

ア	負の数	イ	+10年
ウ	-4人	エ	自然数
オ	除法	カ	逆数

- 1 □□にあてはまる言葉を漢字で書きなさい。(各1点)
- 数直線上で、ある数に対応する点の原点からの距離を、その数の□(1)□という。
 - 正の整数のことを□(2)□という。
 - 2、3のように、1とその数自身しか約数をもたない数を□(3)□という。
 - 加法の式 $(-2) + (+5)$ で、加法の記号で結ばれた-2や+5を、この式の□(4)□という。

(1)	(2)
(3)	(4)

- 1 □□にあてはまる言葉を漢字で書きなさい。(各1点)
- 数直線上で、ある数に対応する点の原点からの距離を、その数の□(1)□という。
 - 正の整数のことを□(2)□という。
 - 2、3のように、1とその数自身しか約数をもたない数を□(3)□という。
 - 加法の式 $(-2) + (+5)$ で、加法の記号で結ばれた-2や+5を、この式の□(4)□という。

(1) 絶対値	(2) 自然数
(3) 素数	(4) 項

1. 次の(ア)から(エ)に適する言葉を答えなさい。ただし、(ア)(イ)については、解答欄の正しい方を丸で囲みなさい。【知】
- ① 「 $2-3$ 」のような項を並べた式は(ア)の式である。
- ② 負の数を(イ)かけ合わせた積は正の数になる。
- ③ $(a \times b) \times c = a \times (b \times c)$ となる法則を(ウ)という。
- ④ 数直線上において、数0に対応する点を(エ)という。

ア: 加法 ・ 減法	イ: 奇数個 ・ 偶数個
ウ:	エ:

1. 次の(ア)から(エ)に適する言葉を答えなさい。ただし、(ア)(イ)については、解答欄の正しい方を丸で囲みなさい。【知】
- ① 「 $2-3$ 」のような項を並べた式は(ア)の式である。
- ② 負の数を(イ)かけ合わせた積は正の数になる。
- ③ $(a \times b) \times c = a \times (b \times c)$ となる法則を(ウ)という。
- ④ 数直線上において、数0に対応する点を(エ)という。

ア: <u>加法</u> ・ 減法	イ: 奇数個 ・ <u>偶数個</u>
ウ: 乗法の結合法則	エ: 原点

言葉の問題も出題される場合がよくあるので要チェック!
上には出ていませんが『分配法則』も忘れずに!